様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和2年 6月 4日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住所 愛知県安城市小川町久々井 1番	
氏名 アイシン精機株式会社 小川工場	
工場長 林 秀俊	
電話番号 0563-57-6701	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	アイシン精機株式会社 小川工場
事業場の所在地	愛知県安城市小川町久々井1番
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
1 事業の種類	31 輸送用機械器具製造業
2 事業の規模	製造品出荷額 (6,850,788万円)
3 従業員数	986名

④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>廃プラ：中間処理業者に委託して破碎後原料化もしくは焼却後建設材料として再資源化</p> <p>金属屑：中間処理業者に委託して焙焼後原料として再資源化</p> <p>ガラス・陶磁器屑：中間処理業者に委託して破碎後原料として再資源化もしくは埋立</p> <p>汚泥（社外処理）：中間処理業者に委託して脱水後建設材料として再資源化 中間処理業者に委託して圧縮固化後、原材料として再資源化</p> <p>汚泥（社内処理）：脱水・焼却（社内処理）後、飛灰は路盤材、燃え殻はセメント原料化</p> <p>廃油（社外処理）：中間処理業者に委託して油水分離後燃料として再資源化</p> <p>廃油（社内処理）：濃縮後（社内処理）中間処理業者に委託して燃料として再資源化</p> <p>廃酸・廃アルカリ：中間処理業者に委託して中和後、建設材料として再資源化もしくは埋立</p> <p>木屑：中間処理業者に委託して破碎後再資源化</p>
-----------------	---

（日本工業規格 A列4番）

（第2面）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
（管理体制図）	
小川工場→環境管理総括者	工場長
↓	
環境管理推進責任者	工場管理グループマネージャー
↓	
産業廃棄物管理責任者	工場 安全・管理課長
↓	
工場廃棄物分科会会長	工場 安全・管理課長
↓	
工場廃棄物分科会メンバー	工場 工長

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
1 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	別紙参照	
	<p style="text-align: center;">（これまでに実施した取組）</p> <p>汚泥：排水処理場から出るスラリーを脱水、脱水後の汚泥を西尾工場にて焼却し減量化。</p> <p>金属屑、廃プラ：分別の強化、徹底による有価化。</p>		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	

		排出量	別紙参照	
		(今後実施する予定の取組) 汚泥：スラリーの脱水、社内焼却を継続。 金属屑、廃プラ：分別の更なる徹底による有価化継続。		
産業廃棄物の分別に関する事項				
	①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属屑、廃プラ等は徹底した分別を実施中。		
	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の徹底を継続実施する。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
1 現状	【前年度（令和元年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙参照		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙参照		
	(これまでに実施した取組) 再生利用実績は無し。			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙参照		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙参照		
	(今後実施する予定の取組) 再生利用の計画は無し。			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
1 現状	【前年度（令和元年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙参照		

		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	別紙参照	
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	別紙参照	
		(これまでに実施した取組) 排水処理場から出るスラリーを脱水後、社内焼却炉（西尾工場）にて焼却処理し減量化。 水溶性廃油を濃縮機にて減量化。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	別紙参照		
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	別紙参照		
	(今後実施する予定の取組) 今の取り組みを継続。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
1 現状	【前年度（令和元年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙参照		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	別紙参照		
	(これまでに実施した取組) 実績無し。			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙参照		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	別紙参照		

		(今後実施する予定の取組) 計画無し。	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
1 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託量	別紙参照	
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙参照	
	再生利用業者への 処理委託量	別紙参照	
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙参照	
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	別紙参照	
	(これまでに実施した取組) 分別を徹底し、再生利用業者への委託を推進。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託量	別紙参照	
	優良認定処理業者への処 理委託量	別紙参照	
	再生利用業者への 処理委託量	別紙参照	
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙参照	

		<p>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</p>	<p>別紙参照</p>	
		<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>再生利用業者への委託の推進と、 現地調査実施による適正処理状況の確認。</p>		
<p>※事務処理欄</p>				

産業廃棄物の種類(名称)		汚泥	金属屑	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラス屑 陶磁器屑	木屑	合計
◇産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	前年度実績	2,172.26	0.23	1,462.37	86.65	124.64	49.15	3.66	8.27	3,907.23
	目標	2,150.54	0.23	1,447.75	85.78	123.39	48.66	3.66	8.19	3,868.20
◇自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	前年度実績	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	目標	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
◇自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	前年度実績	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	目標	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	前年度実績	1,926.77	0.00	1,218.89	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3,145.66
	目標	1,907.50	0.00	1,206.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3,114.20
◇自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	前年度実績	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	目標	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
◇産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
全処理委託量	前年度実績	245.49	0.23	245.81	86.65	124.64	49.15	3.66	8.27	763.90
	目標	243.04	0.23	243.35	85.78	123.39	48.66	3.66	8.19	756.30
優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	237.28	0.23	245.81	86.65	124.64	49.15	0.00	8.27	752.03
	目標	234.91	0.23	243.35	85.78	123.39	48.66	0.00	8.19	744.51
再生利用業者への処理委託量	前年度実績	245.49	0.23	245.81	86.65	124.64	49.15	3.66	8.27	763.90
	目標	243.04	0.23	243.35	85.78	123.39	48.66	3.66	8.19	756.30
認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	目標	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績	0.00	0.00	0.00	0.00	1.14	47.81	0.00	0.00	48.95
	目標	0.00	0.00	0.00	0.00	1.13	47.33	0.00	0.00	48.46